

第 2 回

栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会 議 事 概 要

平成 22 年 1 月 19 日 (火)

14 : 00 ~ 15 : 50

栃木県自動車整備振興会 佐野支所 2 F 教室

1 . 開会

2 . 議事

(1) 栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会設置要綱の改正 (案) について

- 事務局より東日本旅客鉄道株式会社高崎支社が協議会構成員に加わる旨改正内容の説明 -

設置要綱の改正の協議については、委員に諮ったところ特段の意見なし

(2) 第 1 回栃木県宇都宮交通圏・県南交通圏・塩那交通圏合同タクシー特定地域協議会議事概要について

事務局より議事概要について、資料説明

(3) 栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会地域計画 (素案) について

事務局より地域計画 (素案) について、資料説明

奈良部委員【代理】 ・目標が ~ までである中で、 まではタクシー事業の活性化施策で、
の「過度な運賃競争への対策」と最後の「目標に必要となる供給過剰状態の解消」
は留意すべき事項としてまとめられているのか。

事務局 ・減車について本協議会で議論することは、独占禁止法に抵触する恐れがあることから、事業再構築というかたちで各々の事業者から特定事業計画を提出いただき、公正取引委員会と調整を諮っていくかたちになる。
・協議会においては、関東運輸局が提示した適正車両数を勘案していただきたいという程度になる。

國保委員 ・全体として最終的には供給過剰になっていると結論づけているが、少し見方を変えて消費者団体等の立場からすると、この計画をサービスを受ける側はどの様に捉えるか不安な面もある。

- ・その他に、商工会議所に（ドライバーの）「おもてなしの心」、「サービス精神」について、苦情が聞こえてくる。できるならば、「おもてなしの心」の向上にも力を入れていただきたい。
- ・13 ページの「主要駅構内タクシー乗り場に優良タクシー乗り場の設置・運営の検討」とは具体的にどの様なイメージになるのか。

- 事務局
- ・まず、消費者・利用者からの見方という点について、現在の需要に対する供給量は実働率 80%あれば、車両数という観点においては利用者に十分なサービス水準を維持できると考えている。
 - ・ドライバーの「おもてなしの心」、「サービス精神」の向上については、地域計画の特定事業計画の中にもタクシードライバーのサービス向上のための教育・研修を盛り込んでおり、業界及び各社において取り組んでいただき、長期的には改善されていくと考えている。
 - ・優良タクシー乗り場の設置・運営の検討については、現在東京においては銀座・新橋等 5 箇所設置されている。主に優良ドライバーのみを対象とした乗り場で、その他のドライバーの一般乗り場とは区別したものである。今後、栃木でも検討できればと考えている。

- 板橋委員
- ・運賃が 50 年間で 7 倍しか上がっていない。
 - ・年間の売上げが 360 万円として、いま平均として年収が 200 万に届かないくらいしかない。まともな生活が送れないから、当然若い人が入ってこない。いま、タクシーは年寄り産業である。このままいくと労務倒産になりかねない。経営者としては、先行きが不安である。
 - ・また、(個人的には)タクシーは 1000 人あたり 1 台が妥当だと考えている。例えば、小山市は人口が 15 万人で 200 台くらいあるので、50 台くらい減車することが適正ではないかと考えている。
 - ・業界としては、これを機会に健全な状態に戻していければと考えている。

- 吉田委員
- ・12 ページに「タクシー乗り場の新設」とあるが、具体的に決まっているのか。
 - ・13 ページにある「高齢者用外出支援助成金、障害者のタクシー利用助成金等公的支援の拡充」とあるが、具体的に何をやるか決まっているのか。
 - ・埼玉や群馬等では、デマンドタクシーや福祉タクシー等の検討を行っているようだが、何か具体的な対策はあるのか。

- 事務局
- ・具体的な乗り場の設置箇所は決まってないが、繁華街等違法駐車が行っている地域にタクシーベイ等を設けて、違法駐車のを排除につなげていきたいと考えている。
 - ・高齢者・障害者の外出支援の拡充については、現在も県内多くの自治体で高齢者及び障害者に対し年間である一定枚数の初乗り分を助成するタクシー券の交付を行っている。このような補助・助成制度の拡充を考えている。
 - ・デマンドタクシーについては、県南地区においては野木町で行っている。その他、

地域内交通の構築については、(運輸)行政としても協力していきたい。

- ・福祉タクシーについては、(一般タクシー会社が運行するには)利用客の少なさから収益性等に問題があるが、導入していく方向で検討している。

奈良部委員【代理】 ・ 6ページの「選ばれる環境作り」について、様々な計画があるが、主に乗車した後の計画が記載されている。しかし、タクシーは乗るまでのハードルが非常に高い。これまでの話に逆行するかもしれないが、何か割り引き施策等はないのか。例えば、誕生日割引等を行い年に1回でも乗ってもらえれば、需要喚起にもなるのではなし、消費者目線ではこのような視点もあっていいのではないか。

事務局 ・ 今現在業界で取り組んでいる割引については、身体障害者割引、運転免許返納者割引(共に1割引)その他の割引については認可の関係もあるのでほとんど実施されていない。今後、関東運輸局とも相談し、出来るものは検討していきたい。

齋藤委員 ・ 佐野市の実施している交通対策のなかで、高齢者を対象とした運転免許返納者割引があるが、PR不足等理由は考えられるが、利用者が伸び悩んでいる。
・ また、佐野市は市営バスにも取り組んでいるが、(タクシー業界と)互いの公共交通的側面において、今回提示されている計画の中身からタイアップできるものがあれば取り組んでいきたい。
・ 各々自治体の政策・事情もあるので一概にはいえないが、デマンドタクシーについても、空車のタクシーの活用等課題があると思う。

四月朔日会長 ・ 今後、施策のPR等も含めて事業者・協会・行政と連携を取りながら推進していきたい。

館野委員 ・ 「高齢者用外出支援助成金、障害者のタクシー利用助成金等公的支援」について、以前から行っている面もあるが、今後、高齢者・障害者支援に関する補助金等の拠出はあるのか。
・ 現状、ドライブレコーダーの導入状況はどのくらい進んでいるのか。
・ 7ページのなかにも、今後10年間で人身事故等を半減させる目標を上回る改善率を目標とするとあるが、何か根拠、裏づけ等はあるのか。

事務局 ・ ドライブレコーダーについては、現在県内で約1割程度の普及にとどまっている。
・ 高齢者・障害者の外出支援の補助については、国からの予算措置はない。各自治体財政状況が苦しいのは重々理解しているが、当該支援施策については市・町での単独補助が出来ればお願いしたい。
・ タクシーの事故件数の推移は、ここ5年間は100件~200件を推移している。
・ また、地域計画にもあるが「事業用自動車総合安全プラン2009」の中で、事業用自動車の事故件数が一般車の事故件数に比べ減少幅が小さいことから、国交省としても目標に掲げていることから、今回の地域計画にも事故件数の半減を目標とした。

四月朔日会長 ・後日意見・不備があった場合には、今月中に添付の「栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会地域計画（素案）に対する修文意見等について」に意見を添えて F A Xにてお寄せいただきたい。
・本日いただいた意見・提案については、次回協議会までに検討を行い、最終的な地域計画（案）を提示したい。

（４）その他

板橋委員 ・ドライブレコーダーについて、自家用車も含めて全車標準装備にすれば、事故防止対策にもつながるし、コストも下がるのではないか。

四月朔日会長 ・ご意見として受け賜りたい。

國保委員 ・全体の流れがつかみづらかったので、目次等つけたらどうか。

事務局 ・各項目の前段に特措法に関する基本方針の抜粋を記載しており、それに沿って方針・目標・計画を掲げていることから、目次をつけるイメージではない。

植原委員 ・本日素案をご覧いただき、今後の展開として素案はまだまだ甘いのか、この方向でいいのか、委員の皆様の感想を伺いたい。

6 . 閉会

事務局 ・第3回については3月中に開催する予定である。

以上をもちまして、第2回栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会
を閉会いたします。

【配布資料】

議事次第

委員名簿

配席図

資料1 栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会設置要綱の改正（案）

資料2 第1回栃木県宇都宮交通圏・県南交通圏・塩那交通圏合同タクシー特定地域協議会
議事概要

資料3 栃木県県南交通圏タクシー特定地域協議会地域計画（素案）

以上